

## キリンビバレッジ 2017年10月販売概況レポート

### 1. キリンビバレッジ社

カテゴリー	前年比
清涼飲料合計	92%

- ・清涼飲料市場全体は天候の影響も受け、単月前年比-4%となった。
- ・当社は単月前年比 - 8 %で着地。
- ・生茶ブランドは、「生茶デカフェ」が単月前年比+48%※と好調も、ブランド全体で-8%。  
主に量販チャネルでの売上げ減が影響。  
※「カフェインゼロ生茶」対比
- ・午後の紅茶ブランドは、ホット商品が寄与し、基盤 4 アイテムが堅調に推移した結果、前年並みで着地。  
(ホット商品計：単月前年比+50%)  
10月下旬発売の「午後の紅茶 アップルティーソーダ」も初動好調。
- ・ファイアブランドは、リニューアルをし、主力である「ファイア 挽きたて微糖」を中心に拡売を図ったが、単月前年比 - 18%。自販機チャネルで天候の影響を受けたことなどが要因。
- ・健康・スポーツ飲料 は、「まもるチカラのサプリ」・「キリンサプリブラッドオレンジ」などの好調により、単月前年比+6%。

以上